

- 1 日 時 令和2年1月20日（月）
- 2 学 年 1年1組 15名（男子 7名 女子 8名） Jump コース
- 3 単元名 PROGRAM 9 A New Year's Visit (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)
- 4 単元について

単元観	<p>本単元は、新学習指導要領の（3）話すこと [やり取り]「ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」に基づき、設定したものである。日本の正月や他国の正月等、日本の文化と他国の文化との比較を通し、日本の文化について見直すことができる題材である。また、言語材料では、現在進行形を扱っており、対話の展開の仕方により、現在進行形の表現や意味を理解することができる。本校のCAN-DO リスト話すこと [やり取り] の到達目標は、「身近な人と家族、友人、学校などに関する話題について、基礎的な語句や表現を用いて、簡単なインタビューをすることができる。」としている。書かれている英文を読み、その内容を基に本文に書かれていない登場人物の感情や状況などの文脈も読み取らせながら感想や理由などを伝え合う力を醸成する。</p>	
生徒観	<p>本学級の生徒は習熟度別クラスの発展コースである。やり取りを通した言語活動を行う中で、学習した内容を使って英語でコミュニケーションを取る生徒が増えている。</p> <p>以下は、令和元年11月に英語学習に関する意識調査による肯定的評価の割合を示したものである。</p>	
	質 問 項 目	%
	1 英語の勉強は好きです。	89.4
	2 英語の授業はよく分かります。	94.7
	3 英語を使って相手とやり取りをすることは楽しいです。	94.7
	4 英語の授業で学んだことを使って、自分の考えや気持ちなどを話している。	89.4
	5 分からない表現があっても、どうにかして英語で伝えようとしている。	94.7
	6 教科書の本文などを読み、読んだ内容について話したり自分の気持ちや考え・感想・理由を伝えたりしています。	89.4
<p>各項目の肯定的評価は高いが、学習内容の難易度は高くなってきており、表現力にも差が出始めている。これまで生徒の多くは自分自身のことについてやり取りをすることが多かった。やり取りの質を高めさせるために、教科書などを参考にしながら考えを述べ合うなど、読んだり聞いたりしたことについて感想や理由などを伝え合いながらやり取りをする力を身に付けさせる必要がある。</p>		
指導観	<p>本単元の目標を達成し、上記の課題を解決するために、次の3点を重点的に指導する。</p> <p>① 感想や理由などを伝え合うために必要な、<u>基礎的・基本的な知識の定着</u>を図る。</p> <p>② 教師の話や教科書の内容を読んだりしたことについて、感想や理由などを伝え合うことができる<u>表現力</u>を身に付けさせる。</p> <p>③ 感想や理由などを伝える場合、教師が改善策や解を与えるのではなく、「<u>庄原中授業プロセス</u>」を用いて、生徒自身がより適した表現方法を考えていけるような<u>主体的な学びの場面</u>や<u>機会</u>を設ける。</p>	

5 本校で身に付けさせたい資質・能力

庄中FIND	表現力	行動力	協働する力	貢献（自己肯定感）
課題を理解し、ゴールに向けて探究しようとする。	自分の考えや理由を適切に表現できる学びを目指す。	積極的に相手の考えなどを知ろうとする態度を目指す。	他者と交流を通して、より良い考えなどを導き出す姿勢を目指す。	互いを肯定的に受け止め、より良い人間関係を形成する態度を目指す。

## 6 単元の目標

- 【コ】間違いを恐れず，感想や理由などを伝えるためにやり取りを続けようとしている。
- 【表】読んだり聞いたりした内容を基に，感想や理由などを伝え合うことができる。
- 【理】書かれた英文や聞いた内容の概要，登場人物の感情や状況などの文脈を読み取ることができる。
- 【知】現在進行形の文構造や用法を理解する。

## 7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れず，感想や理由を伝えるためにやり取りを続けようとしている。	読んだり，教師の話の聞いたりした内容を基に，感想や理由などを伝え合うことができる。	書かれてある英文の概要を理解するだけでなく，登場人物の感情や状況などの文脈を読み取ることができる。	現在進行形の文構造や用法を理解している。

## 8 単元のゴール（パフォーマンステスト）

【課題】 コミュニケーションの目的・場面・状況	あなたは他国の文化について知る学習を行うことになりました。グレンディ先生が書いたアメリカのクリスマスの過ごし方についての文章を読み，読んだことを基に，自分のクリスマスの過ごし方についてグレンディ先生とやり取りをしましょう。		
評価の観点	外国語表現の能力【話すこと（やり取り）】		
A	<p>○読んだ内容や自分の知っている内容を基に，感想や理由を伝えるだけでなく，やり取りを続けるために質問をしている。</p> <p>G : Let's talk about our Christmas.                      S : OK. You eat cookies in Christmas, but I eat Christmas cake. It's good. Do you like cakes?</p> <p>G : Yes! And we watch Christmas movies.                S : We have many comedy TV programs.</p> <p>G : Really? Do you like comedy?                              S : Yes, I do. By the way, you have a big Christmas tree. But I have a small one. I want a big one.</p>		
B	<p>○読んだ内容や自分の知っている内容を基に，感想や理由を伝える。</p> <p>G : Let's talk about our Christmas.                      S : OK. You eat cookies in Christmas, but I eat Christmas cake. It's delicious.</p> <p>G : I see. We watch Christmas movies.                    S : We have many comedy TV programs.</p> <p>G : Really? Do you like comedy?                              S : Yes, I do. By the way, you have a big Christmas tree. But I have a small one. I want a big one.</p>		
C	読んだ内容を基に，感想や理由を伝えておらず，伝え合うために必要な表現を用いていない。		

## 9 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

- ①感想や理由などを伝えるための必要な表現を用いて，感想や理由を伝え合う。
- ②関連する言語材料

We Can! 1	We Can! 1 → 中学校	中学校
(Unit 9) Who is your hero? He / She is good at playing tennis. He / She is swimming.  小学校で現在進行形を学ばないが，動名詞は学習を行う。	He / She is good at playing tennis. → I'm cooking now.など，現在進行形の用法を学習する。	I'm changing my clothes. Are you still changing your clothes?

10 単元計画 (全5時間)

次	時	目標・課題 (◆)・主なやり取り等 (*)・予想される振り返り (○)	評価規準・評価方法
一	1	<p>◆感想や理由を伝え合う学習を振り返り，やり取りを行う。</p> <p>*PROGRAM 7 の本文を基に感想や理由を伝え合う教師とALTのやり取りを聞いて，言語活動を想起させる。</p> <p>*PROGRAM 8 の内容で感想や理由を伝え合うやり取りをさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : Look at TV. Do you remember this doll? What's the name?                      A : It's Noa chan.                      T : Who can make Noa chan?                      S : Daisuke can.                      T : Yes, that's right. Daisuke can make Noa chan and a lot of origami.                      What do you think about him? Let's talk with your partner.                      S1 : What do you think about Daisuke?                      S2 : I think he is great. Because I can't make these origami. He is cool. How about you?                      S1 : I think so too. I can make only origami crane. He is wonderful.</p> </div> <p>○I thinkに加えて，I think so too.も使うことができた。自分にはあんなにたくさんの折り紙を折ることができないという理由を付け加えて伝えることができた。</p>	行動観察 (ア)
二	2	<p>◆現在進行形の用法を理解し，ジム一家の正月について読み取る。</p> <p>*教科書の本文から現在進行形の用法を理解させる。</p> <p>○「今」していることを伝えるときは，be 動詞と動詞にing を付けるということが分かった。自分の正月の過ごし方とは違うと思った。</p>	ワークシート (ウ) ワークシート (エ)
	3	<p>◆現在進行形疑問文の用法を理解し，ジム一家の正月について読み取る。</p> <p>*教科書の本文から現在進行形疑問文の用法を理解させる。</p> <p>○現在進行形を疑問文にするときは，主語と be 動詞を逆にすればよいことが分かった。be 動詞の疑問文の作り方と似ていると思った。</p>	ワークシート (ウ) ワークシート (エ)
	4	<p>本時案を参照</p> <p>*読んだり聞いたりしたことについて「感想」などを伝え合わせる。</p>	行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)
三	5	<p>◆日本とアメリカの正月の過ごし方について知り，違いについてやり取りをする。</p> <p>*読んだり聞いたりしたことについて，「感想」や「理由」を伝え合わせる。</p> <p>*ALT の正月の過ごし方について聞き，日本との違いを見付けさせる。</p> <p>*日本とアメリカの正月についてやり取りをさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1 : What do you think about New Year?                      S2 : I think American New Year is beautiful. So I want to go to New York and I want to go to a count down party. It looks fun. How about you?                      S1 : I want to go to New York too. But I like Japanese New Year. Because I can get <i>otoshidama</i>. And I can watch interesting TV programs. I like comedy very much.</p> </div> <p>○同じお正月でもアメリカと日本では全然違うことが分かった。アメリカではクリスマスの過ごし方が日本のお正月に似ていると思った。他の国のお正月についても知りたいと思いました。</p>	行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)

後日	・英文を読み、読んだ内容について自分の感想や理由などを伝えるためにALTとやり取りをさせる。	スピーキングテスト(イ) ペーパーテスト(エ)
----	--	----------------------------

11 本時の学習

(1) 本時の目標

○ジムさん一家の元旦の様子について書かれた英文を読み、感想などを伝え合う。

(2) 本時の評価規準

○間違いを恐れず、感想などを伝えるためにやり取りを続けようとしている。(ア)

○読んだり、教師の話の聞いたりした内容を基に、感想などを伝え合うことができる。(イ)

(3) 準備物

ワークシート、電子黒板、iPad

(4) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
10分    30分	1 << Small Talk >> (ペア) ・ Small Talk をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">Small Talk (小学校との関連)</div>	・ 教師の話聞いて、その内容についてやり取りをさせる。 ・ 感想や理由などを付け加えてやり取りをさせる。 ● 困っている生徒がいる場合は、机間指導を行い、ヒントを与える。	
	2 << めあての確認 >> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;">英文を読んで、読んだ内容を基に、自分のことと関連付けながらやり取りをすることができる。</div>		
	3 << Review >> ・ 前時で学習したことをQ&Aなどで振り返る。	・ 前時で学習した内容を確認させる。 ・ 教科書に書かれていることだけではなく、登場人物の感情や状況などの文脈を読み取らせる。	
	4 << Activity >> ・ 追加の英文を読む。 ・ 英文の内容について確認をする。  ・ 読んだ内容を基に、自分の正月の過ごし方について伝え合う。	・ あまり難しい表現は使わずに、内容が理解できる英文を準備する。 ・ 教師とのインタラクションを通して、読んだ内容について確認させる。その中で、登場人物の感情や状況などの文脈も読み取らせる。  ・ 最初から助言はせず、まずは生徒に挑戦させる。 ・ 困ったことや疑問などがあれば、全体で交流し、生徒自身に考えさせる場を与える。 ・ 生徒に考えさせても言いたいことが上手く言えない場合は、教師がアド	行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)

10分		<p>バイスを行い、思考を深めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考したことを再挑戦させ、表現の幅を広げさせる。</li> <li>・教師が肯定的な評価を行い、英語を話したい意欲を維持させる。</li> </ul>	庄原中授業プロセス
	<p>T : You read about Jim's family's New Year. How about you? What do you eat on New Year's day? On my New Year's day, I go to my parents' house. And I eat <i>osechi</i> and <i>ozoni</i>. My <i>ozoni</i> has rice cake, carrots, <i>kamaboko</i> and <i>negi</i>. I think it's simple but it's very delicious. I also like <i>kurikinton</i> and <i>kazunoko</i>. <i>Kurikinton</i> is sweet and <i>kazunoko</i> is delicious . How about you? Let's talk with your partner.</p> <p>S1 : What do you eat on New Year's day?  S2 : I eat <i>osechi</i> and <i>ozoni</i>.  S1 : I eat <i>osechi</i> too. What <i>osechi</i> do you like?  S2 : I like <i>kurikinton</i>. It's sweet. Sam likes <i>kurikinton</i> too. But I don't like <i>kazunoko</i>.  S1 : Why?  S2 : Because I think it's not delicious. How about you?  S1 : I like <i>ozoni</i>. Meg's grandpa's <i>ozoni</i> has rice cake, carrot, mashorrom and shrimp. But my <i>ozoni</i> has rice cake, shell and <i>negi</i>. I think it's good.</p>		
<p>5 《まとめと振り返り》（全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で交流する。</li> <li>・次時の学習内容を知る。</li> <li>・めあてと次時への学習の見通しをもった振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体のやり取りが終了した後、特に良かったペアを指名して、全体で本時のやり取りについて交流させる。</li> <li>・本時のやり取りが次時にどのようにつながるのか、見通しをもたせる。</li> </ul>	<p><b>【期待される生徒の振り返り】</b>  お雑煮やおせちなどお正月に食べるものについて、自分が食べるものと比べながらやり取りをすることができた。また、アメリカでは日本と全く違うものを食べることに気付いた。色々なお正月の食べ物があるのだと思った。</p>	